

日 時：平成 29 年 3 月 1 日（水） 11:00～12:00

場 所：安城商工会議所 4 階 情報研修室

出席者…委員長：高橋康友（一般社団法人中小企業支援ナビ）  
委 員：成田翔吾（碧海信用金庫）、立見大作・小牧信也（株式会社日本政策金融公庫）、  
早水直美・小木曾賢・稲垣創一（安城市商工課）  
事務局：岩井初幸・亀岡直樹・吉田央（安城商工会議所）

以上 10 名

## 協議事項

### (1) 平成 28 年度経営発達支援計画実施報告について

- ・平成 28 年度経営発達支援計画目標管理に基づく全体の実施報告を事務局より説明。

立見：景況調査において目標数値に達していない理由は何か。

吉田：前半 2 回は広報担当者との連絡が密にできておらず、目標に達しなかった。しかし 3 回目以降は広報担当者を確認し、目標数値をクリアするための組織的改善を行った。

早水：展示会商談件数については、「ものコン。」ではなかったため、目標に達しなかったのか。

吉田：「ものコン。」が隔年開催であることから、今年度はメッセナゴヤへ出展サポートを行い、その出展小間へ訪れた来場者数と商談件数とした。アンケート結果では、目標数値まで届かなかった。

### (2) 伴走型小規模事業者支援推進事業実施状況について

- ・伴走型小規模事業者支援推進事業の実施スケジュール、遂行状況報告について事務局より説明。定期景況調査内容、専門家派遣「ビジネス問題バスターズ」派遣状況と企業の課題、経済動向アンケート調査の報告を行う。

成田：専門家派遣の企業の課題は、やはり売上拡大が多い。

吉田：特に売上拡大、販路開拓が多く、今年度は IT 活用（WEB マーケティング）も多くなってきている。

立見：専門家派遣は、市内企業のみか。公庫の取引先も活用したい。

吉田：補助金の関係上、市内のみであり、補助対象は小規模事業者となる。そのため中小企業は自己財源で対応している。

高橋：アンケート調査はどのようなものが中心となるのか。

岩井：景況調査に加え、今回はプラスαとして事業承継について調査していく。

高橋：ビジネス問題バスターズの状況をみると、補助金フォロー案件も出てきたようである。

岩井：持続化補助金の採択後にチラシ等による販路開拓を行っているが、実際に新規顧客を獲得できているケースが少ないことから、チラシ等作成時に専門家を活用し、より実のある補助金としていきたい。

高橋：今後のビジネス問題バスターズでは、1 事業者に対し 2 回目以降のアドバイザーをより専門的なアドバイザーに変えていくこともケースによって検討していきたい。

### (3) 平成 29 年度計画内容ならびに見直しについて

- ・平成 28 年度実績を基に平成 29 年度目標数値の確認を事務局より説明。

吉田：来年度については、「ものコン。」も実施されることから、大きな変更は必要ないと考えている。

### (4) その他

- ・特になし。